

これらの季節、子どもたちに  
 しては楽しいことがいっぱい!!  
 「そまご...」というくらい「トコトン」遊ぶことに。  
 大人は「まごきつみ」遊ぶ... 実はスゴい!!!

子どもの「どろんどろん遊び」や「砂遊び」は、飛者どろんどろん(健康)を考へる上で、実に至理に「適」な遊びだといふことがわかってきました。むしろ過度に清潔にして育つた子ども(ほど)不健康になるそうです。きれいにしすぎると免疫力が落ちてしまう。だからこそ、子どもがどろんどろん遊びをする

すべての菌を「汚い」「不潔」と排除しようとするのでなく、少し大らかな気持ちで、菌と共存してやるのが、最高の健康状態を維持するために「必要」なようです。

「どろんどろん遊びの良さ」は、科学的にも実証されています。人間の身体には、セロトニンというものが低下すると、「うつ」(イライラ)や精神的に不安定(イライラ)するそうです。「どろんどろん遊び」には、そういう精神的なダメージや成長、あと単純に「やる気をアップさせる」ひとつとして使われているそうです。

お洗濯は大変ですが、子どもたちに「まごきつみ」(楽しいこと)ばかりです。子どもたちの夢中で遊ぶ姿を思い、「どろんどろん遊び」がもたらす「まごきつみ」(楽しいこと)は、...

「どろんどろん遊び」がもたらす「まごきつみ」(楽しいこと)は、...

たかすか  
 ほつりん  
 2022.5.16

仲間・集団づくり  
 「人生の入口には全ての幼稚園の砂遊びで学ぶ」という有名な言葉があります。友だちと協力して山や川を作ったり、時に道具の取り合い(イメーシ)の喧嘩(イメーシ)も、それがトラウマになること(イメーシ)も、その後の人生において非常に大切な本質です。

自己肯定感を育てる  
 ある調査によると、自己肯定感の高い子どもたちの多くは、「どろんどろん遊び」や「砂遊び」を愛する傾向があります。中でも「どろんどろん遊び」は、その中でも特に「やる気をアップさせる」効果があるといわれています。

健康な身体づくり  
 戸外で遊ぶ(砂遊び)は、皮膚を鍛えられ、また「雑菌」に対する抵抗力も強くなります。さらに「どろんどろん遊び」は、集中することで、視覚・聴覚・味覚・触覚・臭覚など五感も磨かれていきます。五感を磨くことは「感性」を磨くことにもつながります。

本来の自分を見つける  
 自然物、半生(水、砂、土(どろん))は子どもたちの身体にも解放し、「本来の自分」を表現しやすくしてくれます。これらを使つて遊びを通して、よく笑い、よくしゃべるよう(イメーシ)に、壁がとりわけて、ストレスを消散。その上、「思いきり遊ばせ」満足感も得られやすい。

想像力・創造力  
 集中力、忍耐力を養う  
 笑ふ(イメーシ)は、水、砂、土などの素材(素材)に遊ぶことが大切で、それをとって、ひとつの素材だけでも様々な形に変えるので、不思議で面白いもの(イメーシ)です。さらに混ぜ合わせることで、しかもそれぞれの量を加減することによって、固さや感触が変化するので、ますます興味がかき立てられ、積極的な活動(イメーシ)が引き起こされます。どの年齢の子どもであっても自分のイメージ(イメーシ)を合わせ、遊ぶことができる素材でもあり、崩れ(イメーシ)や作り直し(イメーシ)を繰り返す中で、想像力(イメーシ)や創造力(イメーシ)を養う基礎(イメーシ)を身につけていると考えられます。